

## 英語を”数学的に”教えます

▶ 2023.7.22(土)

### 習う方がいい部分

英語には、自分で学習できる部分と習わないと理解できない部分というのがあります。数学のようにひとりで考えれば解けるというような性質のものではない部分が英語にはあります。

例えば、英作文と書きかえ問題とか英問英答問題などです。

「間接疑問文」という文法項目の場合を考えてみます。

英作文です。

「あなたとサム(Sum)はどのくらいの間友だちなのかを教えてください。」

これを英語で書けますか。

書きかえ問題です。

次の文を、与えられた語句で始まる間接疑問文に書きかえなさい。

(1) Where does Takeo study English?

Do you know .....

(2) What did you buy at that store?

Please tell me .....

解答は、問題集などの解答例を見ればわかります。

そうではなく、必要なのは”なぜそのように表現できるのか”がわかったかどうか、ということです。これがわからないとこの問題は解けても、応用がききません。

それでは勉強したことにはなりません。

こうした表現のしかたについては習うしか“手”はありません。

教えてもらった方が正確で速いのです。勉強方法の問題です。

### ひとりで学習できる部分

一方、英語では数学とちがって、ひとりで学ぶことができる部分というのがあります。

お金をかけて教えてもらう必要がない部分です。

単語の練習とかリーディングとかリスニングです。

塾で単語の練習をしている生徒がおりますが、”お金を捨てている”ことと同じです。

リーディングとかリスニングについては、CDとかWeb上で、ネイティブの正しい英語を、繰り返し繰り返し自分で納得できるまで聞いて身につけるのが最上の学習法です。

塾で日本人の先生から教えてもらう性質のものではありません。

## 英語を”数学的に”教える数専ゼミの英語指導

だから、数専ゼミでは、教科書の中の英文法の部分だけを抜粋して教えています。  
教科書の中の、教えてもらった方が速く、正確に覚えられる部分です。  
他の塾の英語指導との違いは“数学専門塾としての英語”指導である、ということです。  
英語を”数学的に”指導します。

なんでもかんでも“論理的”に学べます。

なぜ、そのような順序で単語を並べるのか、

なぜ、ここで単語の形がこのように変わるのか、

なぜ、この問いに、このような形で答えなければならないのか。

などを構文と文法と語法の規則から理解してから、覚えられます。

丸暗記はありません。だから、たいくつなパターンプラクティスをする必要がありません。

ただ、規則に従って英文を組み立てていきます。

理系の人には実に勉強しやすい学習法といえます。

普通の塾では、単に問題集の問題を前から順に学習しているだけです。

今、塾で英語を習っている人は、塾のテキストと数専ゼミの英語教材を比べてみてください。

圧倒的に”英語表現をする力”が身につくことがわかるはずです。

これば、丸暗記する必要がない、”理系の人向け”の英語教材です。

Sample : Link : | 中3・間接疑問文 | / Link : | 間接疑問文「学習計画書」 |

## 英語を”数学的に”指導する

### 数専ゼミ・山形東原教室

〒990-0034 山形市東原町二丁目10番8号

TEL: **(023)633-1086** / FAX: (023)633-1094

メールアドレス: [suusen@seagreen.ocn.ne.jp](mailto:suusen@seagreen.ocn.ne.jp)